

# 令和2年度 森林環境譲与税の使途について（十津川村）

## 【令和2年度 森林環境譲与税額】

102,376,000円

## 【使途事業一覧】

事業名	事業総額（円）			事業内容	
	うち当該年度の森林環境譲与税（円）	うち基金取崩額（円）	うち他の財源（円）	概要	実績
森林経営管理法業務委託	4,992,900	4,992,900	0	0	森林経営管理法に基づき優先して整備が必要な森林の区域を設定し、森林境界明確化を実施 境界明確化実施面積：6.97ha相当
森林経営管理法業務臨時職員人件費	785,055	785,055	0	0	経営管理権集積計画の作成等に係る森林の所有者調査等を行うため、臨時職員を雇用 雇用人数：1名
基幹作業道開設（上湯川迫西川線）	57,201,100	57,201,100	0	0	路網が整備されていない地域に基幹的な作業道を開設 作業道開設延長：312m
森林境界明確化支援事業	1,288,500	1,288,500	0	0	森林所有者等が行う森林境界明確化活動に対し助成するとともに、当該活動成果を測量 境界明確化実施延長：6.896m（17ha相当）
森林づくり審議会	1,495,905	1,495,905	0	0	村の目指すべき森林の方向性や施業ガイドラインについて検討する審議会を開催 審議会開催回数：3回
デジタルコンパス購入	1,034,000	1,034,000	0	0	村有林整備の発注、検査等に使用する測量用機械を購入
ドローン購入	560,523	560,523	0	0	村有林の点検、災害時の対応等に有効な機械（ドローン）を購入
施業放置林解消活動推進事業委託	415,800	415,800	0	0	奈良県森林環境税による強度間伐事業に係る森林所有者との協定の締結及び次年度事業候補地の選定業務を委託 奈良県森林環境税による間伐実施面積：5.75ha
集落環境等保全整備事業補助金	2,749,500	2,749,500	0	0	住家・ライフライン等に危険を及ぼす恐れのある立木竹の伐倒・搬出に対し助成 実施箇所：35箇所
21世紀の森・森林植物公園整備事業	4,215,060	4,215,060	0	0	村内森林レクリエーション施設の整備を実施
森林環境教育体験学習事業	52,111	52,111	0	0	村内の小学生（5年生）を対象とした間伐体験、まき割り体験、木材加工体験等の森林教育を実施 体験学習参加者：17人
森林環境基金積立金	27,585,546	27,585,546	0	0	令和3年度以降に実施予定の市町村森林経営管理事業費等に充てるため、執行残額等を積立
合計	102,376,000	102,376,000	0	0	

## 【税導入の効果】

十津川村では、林業6次産業化を掲げ、素材生産量の増大・安定化を図るため、森林環境譲与税を活用し、森林所有者等が行う境界明確化に対する補助や基幹的な作業道の開設事業等に取り組んでいる。

これにより、令和2年度においては、村内全体で約24haの森林の境界が明確となり、今後の森林整備の活発化が期待できる。

基幹作業道（上湯川迫西川線）についても、計画に則った早期の開設を目指していく。

このほか、土砂災害の防止等の森林の持つ多面的機能が十分発揮されるよう、村の目指すべき森林の方向性や施業ガイドラインについて検討する審議会の開催、住家周辺等の危険木処理への助成、村有林の適切な管理に向けた調査用機械の整備等を実施した。

また、森林レクリエーション施設（21世紀の森・森林植物公園）の整備や、村内の小学5年生（総勢17人）を対象に、森林環境教育体験学習事業として間伐体験等を行うなど、森林・林業への関心を深めてもらう取り組みも実施している。

残額については、令和3年度以降に実施予定の市町村森林経営管理事業等に使用するため、基金に積立てることとしている。